安中市立松井田中学校学校通信

絆

令和５年10月20日発行 NO.22

文責：峰岸

ＰＴＡ親子学習会が開かれました

10月12日（木）13時30分から体育館で親子学習会が開かれました。今年度の講師は、日本一学校を回るお笑いコンビであるオシエルズの矢島ノブ雄さんと野村真之介さんです。2013年3月に結成されたオシエルズは、お笑いライブのネタやMCの出演だけでなく、全国の学校を回り、子供を対象にしたワークショップ・講演・研修などを行っているそうです。当日は「自分の進路を切り拓くために必要なこと」をテーマとして講演していただきましたが、笑いを交えながらの講演に生徒達も興味を持って聞くことができ、心に響くものがあったのではないかと思います。多くの保護者の方にも参加していただき、ありがとうございました。また、ＰＴＡ本部の皆様には運営の面で大変お世話になりました。

生徒達と保護者の皆様からの感想を紹介します。

～生徒の感想から～

お笑い要素が多くて、つまらなくならずに楽しく学べた。「will,can,need」の３つを考えることで将来の夢を見つけることができるとわかった。二人の話のなかでは、自分の居場所を見つけることが特に大事だと言っていたように聞こえた。自分が求められている場所はどこなのかしっかり見極められるようにしたい。（１年生）

コントをしながらいじりとふざけの違いを学べた。今日来てくれたオシエルズの芸人さんたちは一見明るく見えるけど、その背景には自分を変える大きな出来事があったことがわかった。自分のキャラを変えるのは自分自身といっていたのが一番印象に残った。また来てほしいなと思いました。（１年生）

オシエルズの２人はお笑いをやってて、でも自分たちが必要とされている場所は違うかもしれないと考えて２人ができる先生の仕事と、自分たちのやりたいお笑いを合わせて、このような授業をしていくと決めたその発想がすごいと思った。自分もなにか一つだけ決めて将来を決めるのではなく、組み合わせたりして、将来を考えていきたいと思った。（１年生）

面白さを交えて、「みんなが心から笑える笑い」と「相手を傷つけ、その人との縁を切ってしまう笑い」の違いを教えてくれたので、とても印象に残った。さらに、将来についての話では「will」「can」「need」について知り、自分に当てはめてみると、自分がやりたいことは何なのか、そのやりたいことは、自分の必要とされている場所なのかがわかった。二人が言っていたように、今のうちに、「これをやりたい」と強く思っていれば、いつか夢に近づけるのかなと思うと、少し将来が楽しみになった。僕の一言で、誰かを傷つけていないか、日々考えながら発言しようと思った。みんなが心から笑っていられる、クラス、学校にしたい。（２年生）

「ないなら作っちゃえ精神」と「お笑いと現実の区別がつく人は寿司屋の醤油をぺろぺろしない」という言葉がとても心に残りました。マイナスなこともできるだけ笑いに変えて楽しく生活できるようにがんばりたいと思いました。そして、「will、can、need」を意識して進路について考えたいと思いました。（2年生）

オシエルズはとっても面白かったです。教えてもらったwill,can,needをこれから使って行きたいと思います。将来のことについて考えてはいるけど、この教えてもらったものの中でneedだけ埋まらなかったので、これから考えて埋めたいと思います。（2年生）

オシエルズのお二人の自分の進路を切り拓くために必要な3つのこと「Will.Need.Can」を大切にして、例えば学校の先生だったとしても、教師という1つのことに囚われずに自分の可能性を信じるということ。人に見られる自分から自分でなりたい自分になっていくことも大切ということが分かったので、今日知ったことを自分の進路や、生活で活かして行きたいと思いました。そして、オシエルズのお二人のお笑い。とてもおもしろかったです。（3年生）

自分のこれからの人生や人との関わり方についてしっかりと向き合えていないときが多かったのでこの講習会を通して楽しく真剣に考えることができた。（3年生）

私は将来の夢やしたいことが全くなく、そのことを聞かれるたびに少しうんざりしていましたが、今日の講習会を通してやりたいことを見つける方法を楽しく学ぶことができたので、これからこの方法を使ってやりたいことを見つける努力をしていきたいと思います。（3年生）

～保護者の感想から～

初めて生のお笑いを見て、とてもリズミカルで楽しかったです。いじめや体験談の話、とっても心に響きました。なぜだか少し涙が出ました。今度、Youtubeで見ます。オシエルズに出会えて幸せです。

とてもよい講演でした。中学生のみなさんの心に響いたのではないでしょうか。「笑い」と「ふざけ」の違い、3つの輪（willとcanとneed）、どれもわかりやすかったです。

重い印象のある言葉、いじめについて等コミカルなお笑いネタを交えて話していただき、楽しみながら聞くことができました。ありがとうございました。

おもしろかったです。進路を決めること、あきらめないこと、よく分かりました。ありがとうございました。